

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	21957
事業名	文化芸術振興補助費					
評価担当課	所 属	市)文化部 文化振興課			電話番号	011-211-2261
施策名	誰もが文化芸術に親しみ、創作や表現ができる環境が整い、多様な					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	①S53年度に「芸術文化振興基金(現:文化芸術振興基金)」を創設し、基金の運用益による助成制度を開始。全採択制による審査の形骸化などの課題が発生していたことから、R4年度から新助成制度として札幌文化芸術交流センターへ引き継ぎ、札幌市からの補助を行っている。 ②個人から札幌市の文化芸術活動の支援を目的とした寄附があり、市民交流プラザを活用した地元文化団体への支援(助成)等をする際の原資として、10年間、毎年一定額を活用することとした。R2年度から補助を実施(R11年度まで)。
	事業内容(何を実施し)	本市の文化芸術振興に寄与する活動等を行う団体及び個人への助成。 ①助成金の交付 文化芸術振興基金(以下「基金」という。)の運用益について、札幌市を拠点に活動を行う団体又は個人による文化芸術活動に対し、その費用の一部を支援する。プラザの指定管理者である(公財)札幌市芸術文化財団を事業実施主体とし、同財団に対し補助金を交付する。 令和5年度は特別助成事業1件(1,400千円)、一般助成事業20件(4,070千円。うち1件は申請取下げ。)への助成を行った。 ②地元応援プロジェクト 令和5年度は令和5年12月に行われた「hitaru/バレエプロジェクト『くるみ割り人形』」に対し5,000千円実施結果の補助を行った。本公演は二日間でのべ5,646人の入場者数を記録した。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	市民主体の文化交流活動などを支援し、活性化させることにより、本市における文化芸術の振興を図る。
	他都市の状況	他都市においても、同様の助成制度を設けていることが多い。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外

令和4年度決算額	10,148 千円	うち特定財源	10,148 千円	正規職員業務量	0.3 人工
令和5年度予算額	12,000 千円	うち特定財源	11,106 千円	正規職員業務量	0.16 人工
令和5年度決算額	10,813 千円	うち特定財源	10,813 千円	正規職員業務量	0.16 人工
令和6年度予算額	14,000 千円	うち特定財源	13,746 千円	正規職員業務量	0.16 人工

指標	アウトプット活動指標1	補助件数				という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
		16件	9件	21件	9件	9件		
	↓							
	アウトカム成果指標1	本助成により、活動が持続・発展していく可能性を感じた人の				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
		89%	90%	88%	90%	90%		
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	活動指標についてはR5助成件数は目標を大きく超えており、文化芸術団体等に認知され、かつニーズに応える内容となっていると考えられる。 成果指標については、目標値には届いていないが高水準であり、事業効果は十分現れていると考えられ						
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
	↓							
	アウトカム成果指標2	新たな鑑賞者・参加者の創出につながる取組を実施できた人				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
		-	-	-	80%	80%		
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方							

今年度の見直し内容	助成金についてR7年度以降の補助要綱の見直しを検討し、新規鑑賞者・参加者の拡大をより重視した内容とする予定。
来年度以降の方向性	効果検証を行い、次年度以降の見直し項目について検討する。